

みいよく通信



★ 第1回地域コーディネーター研修会が開催されました！

平成30年7月4日（水）、宇都宮大学 UU プラザ2階コミュニティフロアにおいて、主に新任者や経験の浅い地域コーディネーターを対象とした標記研修会(市生涯学習課, 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が、47名の関係者の方の参加を得て開催されました。

当日は、宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授 石井 大一郎先生を講師に迎え、「地域コーディネーターの現在地とこれからの方向性」と題して、豊富なご経験から、事例等を交えてご講義いただくとともに、地域コーディネーターによる情報交換のファシリテートを担っていただきました。その際、城東小の比護 久美子地域コーディネーター、雀宮中の荒井 寿子 地域コーディネーター、陽東中の山田 葉子 地域コーディネーターの3人の方へのインタビューをおりませながら、進めていただきました。



【石井先生のレジュメより一部抜粋】

「魅力ある学校づくり地域協議会」の役割

* 魅力ある学校づくり地域協議会、主な事業より一部抜粋して整理

学校支援ボランティア



ボランティア募集の際の細やかな気配りの例

子どもと直接かかわる内容のお手伝い（授業補助・引率等）
子どもと直接かかわらない内容のお手伝い（掲示物作成等）
など、ボランティア目線で参加しやすい呼びかけを

情報提供・公開は適切か

- 参加する人の視点か・デザインか
ex.参加する人に見てもらう
- 具体的か。タイミングは適切か。
ex.ボランティアで怖い... 春は心に余裕がない。
- 報告も大事



居場所と出番

- 事業を回すことに一所懸命になりすぎていないか。
- ボランティアさんの笑顔を見たい。想いを受け止める
- ボランティアさんの得意を知って生かす。

活動の目的は主体形成 (つながりづくり)

- 自主自発的なグループを作る応援。
- ボランティアや教員の関係づくり。
- 話を通しておいたほうが良い方、協力を仰いだほうが良い方をつなぐ。

★ 9班（小学校7班・中学校2班）に分かれて行った情報交換の様子



★ 事務局から伝達事項（事務の手引き・地域コーディネーター活動日誌の改訂等について）

（事務の手引きについて）

- ・ 地域協議会委員名簿，会則（確定版）
 - ・ 地域コーディネーター配置届出書（確定版）
 - ・ 委託料から支出可能な品目について（事務の手引き P 5～P 7 参照）
 - ・ 実績報告用事前チェックリストの再確認について
- 6月30日までに生涯学習課まで使送

（地域コーディネーター活動日誌【様式第9号】について）

- ・ H 3 0 から様式・提出時期を変更
- ⇒ 地域コーディネーターが複数の場合でも，提出するファイルは各学校で1ファイル
- ⇒ 教育情報システムにて生涯学習課担当宛てにデータで提出

6月末時点までの分： 7月31日までに提出
9月末時点までの分： 10月31日までに提出
3月末時点までの分： 1月31日までに提出（2・3月分は見込みで作成可）

★ 実施後アンケートより主な声

（ご自身の活動で，やりがいを感じることや困っていることについて）

- ・ ボランティアに参加してくれる方がいつも同じなので，新しい方を増やしたい。
- ・ 中学校のコーディネーターとして，生徒とどう関わりをもっていくか思案中。
- ・ 学校の窓口が副校長先生以外の場合，連絡調整等が難しい。
- ・ コーディネーター活動を通して，これまで接点のなかった地区の方とも話をする機会が増えた。
- ・ 後任が見つかるか，また，うまく引継ぎができるか少し不安。
- ・ 企画したイベント等に参加した親子が楽しめ，思い出に残してくれれば良い。
- ・ 協議会の会議が，年々，活発に意見が出てくるようになり，メンバーの自覚が出てきている。
- ・ 学校とうまく連携できない。
- ・ 子どもたちの貴重な体験の場をコーディネートしたり立ち会えたりすることができやりがいを感じるが，ボランティア募集の難しさも感じる。
- ・ まだ2年目なので，現状の活動を続けつつ，新しいものを取り入れていきたい。

（今後の市の支援内容や研修のテーマ等での要望について）

- ・ 今回のような研修が参加しやすく，楽しいと思う。
- ・ 地域コーディネーター同士の交流の時間を多く作っていただきたい。
- ・ 各校の事例等をもっと聞きたい。
- ・ 学校で配付している各種ボランティア募集のチラシを持ち寄り，情報交換したい。そのチラシの成功例や失敗例を聞いてみたい。
- ・ 子どもたちにSNS等を通じてのいじめ・異性間のトラブルが発生している。親・地域はどのように接すればよいかなどの研修

